



※light houseとは「灯台」を意味します。向洋生の未来（進路）を照らし、航海（将来）が順調に進む「道標」となりますように。

「一年の計は元旦にあり」

進路指導部長 昆 洋一

あけましておめでとうございます。3年生は新たな地へ、2年生は向洋丸の舵取り、1年生は充実した高校生へそれぞれ次のステージへ進むことでしょう。

年が明けて、今年目標は決まりましたか？ 年末年始にかけて読んだ書籍で野村克也氏の『そなえ(大和書房)』を紹介します。内容は35歳までに学んでおくべきこと、という副題が付けられており、まさに準備の大切さが心に響く一冊でした。随所に自分に置き換えることが、準備すなわち意識して用意することで、ただ漠然と日々の生活が流れるように過ぎ去っていく。自分の将来に向けしっかり準備をして備えることで、成功する確率は格段に変わってくる。「人はプロセスによってつくられる」という内容でした。ぜひ、自己啓発も含めて読んでほしい1冊です。

皆さんも考査や部活動そして進路を問わず、高校生活の中で準備する習慣、計画を立てる習慣を身につけて欲しいものです。決意新たに、新しい年の計画を立ててみようではありませんか。進路室もみなさんの進路に応じた備えをしています。ぜひ足を運んで下さい。今年が皆さんにとって、輝く一年であることを願います。



年明けに1、2年生を対象に今年度3回目となる進路希望調査を行い、以下のような結果になりました。今回の集計では、就職進学の違いの他、より具体的な学校名、会社名などを記入した生徒が多くなっており、進路指導部としても嬉しく思います。なお、「進路室へ」とコメントを書かれた生徒は、早めに進路室へ相談に来て下さい。

2年生は、これから春休みにかけて進路を決定する面談を行うことと思いますが、進学を考えている人は、春休みに行われるオープンキャンパスの日程を調べ、必ず見学に行く準備をしておいてください。就職を考えている人は、受験先を決める時に第2、第3希望まで考え、その理由を担当の先生に話せるようにしておきましょう。先生方の進路開拓の際に、より具体的な話が出来るようになり、みなさんの求人につながるからです。

1年生は未定者の数が徐々に減り、自由記述の欄からは真剣に将来の進路について悩んでいることが伺えました。情報収集を早めに行い、自分の納得する進路を決定できるようにしましょう。

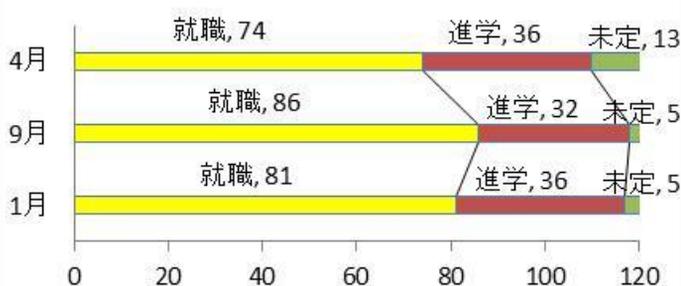
現在の3年生の進路決定状況（12月末現在）は、次のとおりです。

就職内定率 97.1% 進学合格率 87.5%

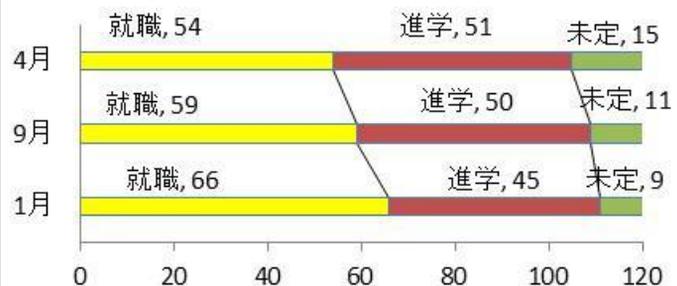
この内定率、合格率は昨年とほぼ同じです。



平成26年度進路希望（2学年）



平成26年度進路希望（1学年）



就職か進学かを決めてはいるものの、まだ具体的には決められないという人は多くいます。担任の先生との面談を通し、より具体的な進路をイメージできるように情報収集して下さい。

東京海洋大学 食品生産科学科

【産業経済科 □□□□】

私は幼い頃から海や船が大好きでした。しかし、ただ海が好きだけで将来の夢は、海とは関係のない食品の製造業を思い描いていました。また、震災の影響で海を避けるようになり、もう関わることはないと思っていました。ですが、向洋で海洋のことを学んだことや地元の水産業界の役に立ちたいと考えたことがきっかけで、大学進学を決めました。

しかし大学の入試方法が変わってしまったため、先生方には難しいと言われました。また、「がんばれ。」と応援はしてくれるものの、的確なアドバイスや指導をしてくれた先生はいませんでした。そのようなどうしようもない時に、笹山先生と五十嵐先生に助けられました。

夏休みから受験までの4カ月間、とても短い期間ではありましたが、英語や小論文、面接練習などに力を入れました。最初に入試の過去問の英文を見たときはショックを受けました。「英語は得意だし大丈夫。」と甘く考えていたからです。見たこともない単語ばかりで、何が書いてあるのか全くわからない。そんな現実を理解したのが夏休みでした。「このままでは本当に合格できない。」と焦り、必死に勉強しました。また、小論文も今まで書いたことがなく、政治から食品のことまで幅広い分野について何題も書きました。面接練習も20回以上行いました。

受験当日、会場に行くついでに多くの受験生がおり、ピリピリムードがとても怖かったことを覚えています。英文や小論文は一応は解いたものの、見たこともない物理か数学かさえわからない公式を見て「無理だ。」と思いました。面接も思うようにはいかず、試験後は「もう、ここに来ることはない。」そう思いながら、大学をあとにしました。合格発表までの2週間は、結果が気になって本当につらかったです。発表はインターネットで見たのですが、結果をみて驚きました。そして、「今まで頑張ってたよかったです。」と心の底から思いました。

私が無事に合格できたのは、笹山先生と五十嵐先生をはじめとする数名の先生方のおかげです。また、一番感謝しているのは家族に対してです。仮設住宅でも、私が勉強に集中できるような環境を作ってくれました。プレッシャーをかけるわけでもなく、4ヶ月間、見守ってくれました。思えば、たくさんの人たちに支えられて私の大学受験は成り立っていたのだと、改めて感じました。合格通知をいただき、やっと普通高校の人たちと同じスタートラインに立つことができるようになった今、これからが本当の勝負だと考え、S科では習わなかった数Ⅱや物理、化学の勉強をしています。苦手分野ではありますが入学前までには少しでも出来るようにしたいです。進学してからは食品はもちろんですが、海洋のことについても詳しく学びたいと思っています。そして将来の夢である、地元の水産業界の活性化に役立てる人材になれるよう精一杯、努力するつもりです。

どんなに周りの人から「無理だ。」と言われ続けても、「見返してやる。」という気持ちと自分自身が諦めないことで夢は叶う、ということを受験を通じて学びました。とても貴重な経験ができました。

仙台青葉学院短期大学 こども学科

【産業経済科 □□□□】

進路について真剣に考え始めたのは三年生になってからでした。就職か進学かもなかなか決められず、どんどん時間は過ぎていきました。以前から保育士になりたいという気持ちがあったため、悩んだ末に進学することに決めました。次に志望校を考え始めましたが、オープンキャンパスも全く参加してなかったため、偏差値や評判が高く、周りからも薦めのあった短期大学に志望校を決めました。

それからは入試のためにエントリーシートの記入や面接練習に取り組みました。面接は20回程度練習しました。本番では練習したことはあまり聞かれませんでした。なんとか答えられました。一週間後、私のもとに届いたのは不合格通知でした。倍率が高く自信がなかったこともあり、全く予想していなかった結果ではありませんでしたが悔しくて涙が出ました。しかし泣いている暇などなく、次の入試に向けて準備をしなくてはなりません。そして同じ学校をもう一度受験することに決めました。しかし、気持ちを切り替えて頑張らなくてはならないと自分に言い聞かせながらも、生まれて初めての挫折から立ち直ることが出来ませんでした。次の入試では面接の他に小論文もありましたが、その練習もほとんど出来ずに本番を迎えました。もちろん、書けるはずもなく結果は不合格でした。

保育士に向いていないのではないかと、そう思わざるを得ませんでした。しかし、自分に問いかけてみるとやはり保育士になりたいという気持ちが強くあり、諦めるわけにはいきませんでした。そして私に足りなかったものは、夢を叶えるために本気で努力をすることだと気づかされました。

全てを一から考え直し、志望校も第二志望だった学校に変更しました。保育にまつわる本を読んだり、ニュースを通して情報を収集したり保育への意識を高めました。また、実技試験としてピアノの試験もあったので、毎日下校時刻ギリギリまで学校に残り面接練習と並行して取り組みました。そして、入試の前日には今までとは違う、本気で保育士を目指す自信に満ち溢れた自分がありました。また自分の思いをしっかり伝えることができました。

この受験そして挫折を経験して、私は努力することの大切さを学ぶことができました。自分が決めたことや、やりたいことに対してどれだけ努力することができるかによって、その後の人生は変わるのではないかと思います。合格して嬉しい気持ちでいっぱいですが、ここがゴールではなく、今初めてスタートラインに立てたと思っています。私にはまだまだ努力が必要であり、入学後も努力を重ね保育士の夢を叶えたいと思います。

長い間支え続けてくださった先生方、友人、家族にとっても感謝しています。本当にありがとうございました。

宮城県実習助手（工業）

【情報海洋科 □□□□】

私は以前から人と関わる仕事に就きたいと考えていました。今まで学んできた電気・電子・通信といった専門的な知識を生かせる仕事に就きたいと思い、気になった企業の見学会に参加したり、先生と何度も面談を行ったりしてきました。そして実習助手という職に興味を持つようになりました。実際に向洋の実習助手の先生や、その経験のある先生に話を聞き、さらに深く興味を持つようになり、受験することを決めました。

試験は一次と二次があり、一次試験では一般教養、専門教養、適性検査、二次試験では面接試験と作文がありました。対策としては、一次試験では専門教養の中に建築や機械など、勉強をしたことのない分野も含まれているため、試験までの短い時間は、今まで勉強してきた電子分野で十分にカバーできるように対策を行いました。二次試験の作文は、私自身が文章を書くことが苦手なことや、生徒という立場ではなく教育者としての立場で題に沿った文章を書くことが求められるため、教頭先生と島原先生に添削していただき、何度も練習を重ねました。面接試験は、受験者の方々は大学生や社会人ばかりと聞いていたので、その中で経験や知識が劣っている自分をどのようにして上手くアピールしていけるのかなどを考え、多くの先生方に面接指導をしていただきました。

試験当日は会場の雰囲気のにまれることもなく、落ち着いて受験することができ、結果として無事に合格することができました。合格することができたのは、協力してくださった先生方、応援してくれた友人や家族のおかげだと思っています。本当にありがとうございました。これから1・2年生は、本格的に進路について悩むことと思います。自分の進路達成に向けて資格取得や部活を通して自信を付けて頑張ってください。

宮城県職員（水産）

【情報海洋科 □□□□】

私は具体的な職種は決まっておりましたが、出来れば私の住んでいる宮城県の水産業に関わりたいて考えていました。安定した水産に関われる職種はないかと考えていた所、宮城県職員の水産を教えていただき高校2年の冬に公務員試験を受けることを決意しました。

しかし私は、一次試験の筆記試験で問われる水産に関して、教科書などが1つもなかったため、海洋類型の先生方や産業経済科の先生方、知り合いの友達などから教科書を貸してもらいました。また、二次試験の面接練習や作文練習では、教頭先生をはじめ多くの先生方に大変お世話になりました。

一番大変であったのは一次試験です。3年生の夏休みから本格的に勉強を始めたので、普通教科では時間があまりなかったために、社会・理科・判断推理などに絞り、とにかく暗記しました。水産の勉強も教科の中からもここが出題されるかも分からず知識もあまりなかったため、先生に聞きポイントをまとめていただき、放課後や土日を使い徹底的に勉強をしました。凄くつらかったですけど貴重な体験となりました。

結果としてすべての試験を合格しました。もちろん合格できたのは私の力だけではなく、担任・副担任の先生、教科書を貸して下さった先生方、面接練習につきあって下さった先生方、支えてくれた友達、家族のおかげだと思っています。

4月から公務員として働くわけですが、最初は慣れない事だらけだと思いますが、いつか必ず県職員として欠かせない人材になりたいです。

これから公務員を目指す人がいると思いますが、焦らずコツコツと勉強するのが大切だと思います。頑張ってください。応援しています。

【進路部より】

今回掲載させていただいた合格体験記の4名は、向洋の指定校推薦の枠などは無く、いずれも自力での受験でした。また、4名とも評定平均は非常に高く、直前になって焦って試験対策をしているわけではありません。普段から授業を真面目に受け、一般教養の基礎となる普通教科を真剣に学習していたことが、勝因となったと確信します。そして合格や内定のために、寝る時間を惜しんで多くの努力していたことを付け加えておきます。

これから第4回定期考査に入りますが、1・2年生のみなさんにおいては、そのような意識を持ち全力で試験勉強に臨んで欲しいと思います。

2年生は今回の第4回定期考査が終わると、3年生の第1回定期考査の1回で、就職先に提出する評定平均値が決まります。進学においても早めの受験がある場合は、同じです。

【これからの行事予定】

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1月20日(火) | 3年生進路講話 『知っておきたい働くときの基礎知識』 |
| 1月28日(水)～ 2月2日(月) | 第4回定期考査【3年生】 |
| 2月12日(木) | 3年生進路講話 『年金セミナー』 |
| 2月23日(月)～ 2月27日(金) | 第4回定期考査【1・2年生】 |
| 2月27日(金) | 先輩のあしあと |



先日の土日はセンター試験でした。本校の3年生は試験に臨んではいませんが、ニュースでは「最後のゆとり世代」「脱ゆとり教育」「脱ゆとり世代」など話題になっていました。現在の3年生は教育カリキュラムが旧課程の「ゆとり教育」と言われ、「ゆとり世代」の最後の年になるそうです。そして、今の2年生からは新課程の教育カリキュラムで行われており、「脱ゆとり世代」となるそうです。

「ゆとり教育」とは、2002年度に小中学校で、2003年度に高校で始まった新しい教育課程で、「詰め込み型教育」が文部科学省主導の下で一変され、「落ちこぼれをなくそう」「個性を大事にしよう」というスローガンで行われた教育でした。その後、政府が方針転換し、2009年から数学と理科で授業時間数が約15%増となる、新たな学習指導要領(新課程)が前倒して実施されることとなります。2008年頃以降に大学新卒で入社した社員は、義務教育過程においていわゆる「ゆとり教育」を受けた世代であり、「ゆとり社員」と呼ばれています。そんな「ゆとり世代」たちを社会人として受け入れる企業側では、彼らとの世代間ギャップに困惑する職場が増えているそうです。

(1) プライベートを優先・マイペース

指示された仕事を怠った理由として平気でプライベートな事情を挙げる新入社員に困惑。

- ①「頼んでおいた資料が出来上がっていませんでしたので理由を聞いたら、『失恋したからつくれませんでした』と言われました。」
- ②「週明けに提出する顧客向けの資料ができていないので休日出勤をお願いしたら、『俺は土日をエンジョイするために仕事を金稼いでいるので、土日に出勤するなんて生きている意味がない』と言われました。」
- ③「職場に配属間もない新入社員が始業時間より20分ほど遅刻して、『すみません！』と焦った表情で職場に駆け込んできたのですが、その手には通勤途中で買ったスターバックスのコーヒーが……。」

(2) 打たれ弱い

誰も新人時代の体験として、右も左もわからず、何をやっても怒られるばかりだった記憶を持っているものだが、最近の「ゆとり社員」たちは打たれ弱い面がある。

- ①「直属の上司に怒られるごとに、1時間トイレにこもる新人がいました。」

(3) 個性が大事

仕事においても個性を重視する「ゆとり社員」に驚きを隠せない。

- ①「電話メモの字が読めないくらい汚いので、せめて読める字で書いてね、とお願いしたら、『これが俺なんです』と言われました。」

(4) 年長者と話すことに慣れていない

- ①「特に基本的な言葉づかいができていない。ずっと“御社”と“弊社”を逆にしたまま話しているのに気付かない。」
- ②「基本的なしつけの問題だと思うが、先輩に話しかけられているのに歩きながら聞く、説明しても『へー』とか『うんうん』とかいっばかりで、メモすら取らない。』、どのレベルから社員教育をすべきなのか戸惑っている。

(5) 「ゆとり社員」は、厳しい世相の中で育ってきた世代。少し違った見方もあります。

- ①「ここ数年の新人さんは、就職活動のときに内定取り消しに遭ったりしているので、保守的で真面目な人が多いように感じます。保守的で主張しないところがゆとり世代ともいえるかもしれません。」
- ②「営業活動が大変だとかでまともにも昼も夜も食わず、結局会社の玄関前で倒れて、救急車を呼ぶことになった子がいました。」

生まれた直後にバブル経済が崩壊し、日本の「失われた20年」の中で育ってきた世代。09年にはサブプライムローン問題に端を発する世界金融危機が起き、11年には東日本大震災と、就職状況が一気に厳しくなった世代でもあります。そんな時代背景も影響しているのか、ゆとり世代には「受け身で真面目」「出された課題はそつなくこなす」という評価の声も多いとのこと。

常識のない常識では計り知れない「あんぴりーばぼー」な出来事。あなたの身に起こるのは明日かも知れない。



編集後記

今回の進路通信は、先輩方の合格体験記をメインに作成しました。私たち一年生は進路についてそこまで考えてはいませんでした。ですが今回の進路通信を作成して、進路について早めに行動をしていたほうが良いと考えさせられました。

みなさんも目標や夢を持ち、少しでも夢に近づけるように頑張りましょう！